

服部四郎 はっとり、言語學者、文學博士。明治四十一年五月、二十九日三
重縣生れ、平成七年一月、二十九日歿（一九六一年）。昭和六年東京帝國
大學文學部言語學科卒。二十四年東大教授。方言、系統論、音聲學等
多方面に涉る。戦後日本言語學の主導的存在。五十年日本言語學學會會長、
五十八年文化勳章。

著譯書 『國語進出篇』（合著、昭和十七年一月）、二十日朝日新聞社「國
語文化講座」）、『國語ローマ字の綴字法の研究』（昭和二十一年四
月五日研究社）、『金と銀のさかいころ』（アルタイ系諸族の言語）（昭
和二十二年十一月）、二十五日彰考書院「世界昔ばなし文庫」）、『世界
の昔ばなし』（合著、關石田英一郎編、昭和二十五年七月二十一日河出
書房）、『音聲學』（昭和二十六年二月二十日岩波書店「岩波全書」）、
『日本語の系統』（昭和二十四年一月二十日岩波書店）、『言語學の
方法』（昭和二十五年十一月二十四日岩波書店）、『アイヌ語上言語辭
典』（編、昭和二十九年八月二十日岩波書店）、『言語の系統と歴史』（
編、昭和四十六年二月二十七日岩波書店）、『R・ヤークブソン著「失
語症」言語學』（訳、昭和五十一年八月二十五日岩波書店）等。

